一般質問　栗山尚記議員（鹿真会・公明）

問 新型コロナウイルス感染による差別や誹謗中傷を徹底的に防ぐ必要があるが、現状や計画は。

答 県をはじめとする各団体による「誹謗中傷防止共同宣言」のもと、本市においても誹謗中傷を防ぎコロナ禍で頑張る全ての方々を応援する活動に取り組む。

教育環境について

問 これまでの学校統合による問題を分析し、新たな統合校の現場に活かす取り組みが必要と考えるが、どのように実行するのか。

答 統合校について特段の問題は報告されていないが、今後統合を迎える学校については、統合後の通学の安全・安心の確保に配慮するほか、加配職員を配置し学校生活での不安や悩みを相談できる体制を整え、児童生徒が環境変化に適応し有意義な学校生活を送れるよう状況把握等を徹底しながら、きめ細やかに対応していく。

医療体制の充実について

問 市民アンケートで最も要望があった医療体制の充実について、強力な戦略の実施が必要と思うが取り組みと成果は。

答 かづの厚生病院の耳鼻咽喉科・皮膚科・呼吸器科・糖尿病外来については、診療日が週1回増加となった。産婦人科医確保に向けた取り組みは、公立病院等に勤める専門医にアンケートを実施し、要望や本市勤務への可能性を伺っている。引き続き補助金などの制度の周知を進めながら鹿角にゆかりのある方や鹿角に興味を持っていただいた方の情報収集に努め、関係団体と連携して取り組む。

栗山 尚記 議員
（鹿真会・公明）

質問した項目
- ■新型コロナウイルス感染による差別や誹謗中傷について
- ■ウィズコロナ下における移住・企業誘致について
- ■教育環境について
- ■医療体制の充実について

録画配信はこちらから

一般質問　児玉悦朗議員（清風会）

問 市民の医療への不安を解消するための方策をどのように考えているのか。

答 病院と診療所間の連携のほか、医師会による「医療を考える集い」や「かづの多職種連携を進める会」などにより横断的に連携し、引き続き市民の声を共有しながら不安解消を図っていく。

児玉 悦朗 議員
（清風会）

質問した項目
- ■新型コロナウイルス感染症対策について
- ■人口減少対策について■農業政策について
- ■医療関連について■スポーツ少年団の指導員の状況について■マイナンバーカードの取得数と取得への勧誘策について

農業政策について

問 大規模化を共同で進める農家の集団を企画できないか。

答 今後の農業者の減少に対しては、新規就農者の確保に加え、さらなる経営の効率化や農地の集積・集約化が必要であると考え、ＩＣＴを活用したスマート農業や大規模経営を可能とする基盤整備などを推進していく。

農家集団の共同経営については、経営ノウハウの共有や機械の共同利用、農業の大規模化などを可能とする経営手法であるが、まずは農業者等のニーズを把握しながら必要性について検討していく。

人口減少対策について

問 第7次総合計画で人口減少対策として特に重要と考えられる施策と目指すところは。

答 夢や希望を叶える新たな産業の創出や安定した雇用の確保によって、若者世代の転出を抑制すると共に、進学や就職などで市外へ出た若者が戻ってこられるUターンの加速や20代、30代をターゲットとした移住・定住の促進などによって社会動態を改善していく。

晩婚化・未婚化に対しては、結婚を応援する地域づくりや手厚い子育て支援を生かしたサポート体制等の充実などにも取り組んでいく。

録画配信はこちらから